

ステアリングマイクロカテーテルの生産設備増設について

住友ベークライトグループのS Bカワスミ株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：大久保 明子）は、近年の血管内治療におけるステアリングマイクロカテーテルの需要拡大を受け、同グループの秋田住友ベーク株式会社で生産設備を増設することを決定しましたのでお知らせします。

本製品は、手元の操作により先端の方向を任意に制御でき、手技時間の短縮に貢献する新しいタイプのマイクロカテーテルです。2016年の販売開始以来、血管内治療における高度化・低侵襲化の進展とともに、国内外の医療現場で臨床実績を積み重ねてきました。

血管内治療を取り巻く環境変化とマイクロカテーテルの役割

高齢化が進むなか、動脈硬化や血管狭窄などの血管疾患、ならびに生活習慣病に起因する疾患リスクは年々高まっています。また、高齢者や併存疾患を有する患者にも適用可能な治療の選択肢として、血管内治療を含む低侵襲治療の需要が増加しています。

低侵襲治療は、外科的手術と比べて身体的負担が少なく、入院期間の短縮や生活の質の向上が期待できる治療法であることから広がっています。

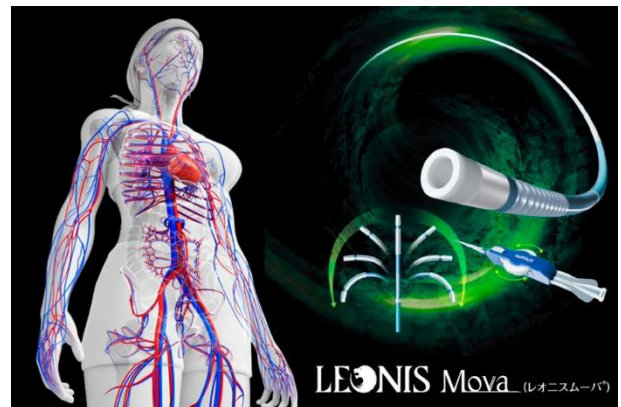
こうした治療に不可欠なデバイスの一つがマイクロカテーテルであり、脳血管、腹部、末梢血管など幅広い領域で使用されています。周辺デバイスの進化と相まって、より複雑で高度な症例への対応が求められる中、マイクロカテーテルに対する性能要求も高まっています。

ステアリングマイクロカテーテルの特長と臨床価値

ステアリングマイクロカテーテルは手元操作により、先端の方向を任意に制御できる構造を特長としています。この先端可動機構により、従来のマイクロカテーテルではアプローチが困難であった高度屈曲血管や複雑な血管分岐に対しても、選択的かつ安定した挿入が可能となります。

腹部領域における肝細胞癌などの腫瘍に対する塞栓術、脳血管領域における脳動脈瘤のコイル塞栓術、末梢血管領域における虚血性疾患への治療など、多様な疾患に当社のステアリングマイクロカテーテルが選択されています。

本製品の先端可動機能は、目的の血管への到達性を高めることで血管選択を容易にし、医師の操作負担を軽減するとともに、手技時間の短縮に寄与します。これにより、透視時間の低減や造影回数削減が期待でき、患者さまはもちろんのこと医療従事者の被ばく量軽減にもつながります。



ステアリングマイクロカテーテル
(承認番号：22600BZX00482000)
レオニスムーバ®

販売開始以降、医療技術の進展と臨床ニーズの変化に応じて適応領域は拡大しており、当社では国内外でサイズバリエーションの拡充や継続的な改良を進めてきました。国内では2022年に頭蓋内血管内治療への適応を目的とした薬事承認を取得し、保険適用の拡大を得るなど、臨床現場のニーズに即した製品展開を行っています。

これらの特長により、ステアリングマイクロカテーテルは、より安全で確実な血管内治療を支える医療ツールとして医療現場に定着しており、販売開始から約10年を経た現在も需要の拡大が続いています。

生産設備増設の概要

今回の生産設備増設は、国内外で安定的に成長する需要に対応し、医療現場への安定供給を継続することを目的としています。秋田住友ベーク株式会社で2026年4月より設備導入の準備を開始し、2027年2月から稼働を開始します。

当社のステアリングマイクロカテーテルは、国内販売のみならず海外ではパートナー企業を通じて約40か国で販売されており、米国および中国を中心に需要が拡大しています。今回の生産体制の強化により、生産能力は2027年度に2025年度比200%を見込んでおり、新たな市場での展開も見据えた供給体制の構築を進めていきます。

今後に向けて

当社は、低侵襲治療における医療ニーズの変化に応え、患者さま、医療従事者の皆様の課題解決に貢献する製品の開発・供給に取り組んできました。今回の生産設備増設は、低侵襲治療に使用される医療機器としての責任を果たすための取り組みであり、今後も安定供給と品質向上を通じて、持続可能な医療の発展に寄与してまいります。

【製品についての問い合わせ先】

S Bカワスミ株式会社 国内営業本部 エンドバスキュラー製品営業部

TEL:03-5462-4824 <https://www.sb-kawasumi.jp>

お問合せフォーム https://www.sb-kawasumi.jp/contact/c_product.html